

VI 成果と課題

1 成果

- 児童生徒を対象にした「情報モラル教育に関する実態調査」を実施し、児童生徒の情報モラルの実態を把握することができた。
- 「GIGAワークブックみやざき」を活用した検証授業を実施し、活用することのよさや効果を確認することができた。
- 児童生徒を対象にした「算数・数学科の授業に関する実態調査」を実施し、児童生徒の学び方に関する実態を把握することができた。
- 「予習型授業」の検証授業を実施し、取り組むことによる効果や児童生徒の反応を実際に把握することができた。

2 課題

- 情報モラル教育を発達の段階に応じた系統的な指導を行っていくための計画を、各学校の実情に合わせて作成していく必要がある。
- 「GIGAワークブックみやざき」の中で、今回の検証授業で使用した教材以外の教材の活用を進め、その有効性や効果的な活用方法について検証していく必要がある。
- 「予習型授業」においては、児童生徒の家庭における学習の習慣化や予習内容の改善等、さらに研究を進めていく必要がある。

【研究同人】

所	長	荒木	幸一		
副 所	長	川添	卓哉		
研究指導員		黒木	幸博		
研究指導員		鈴木	光（スクールサポーター）		
研 究 員		原田	佳菜子（本庄小教諭）	新原	翼（森永小教諭）
		金丸	誠（八代小教諭）	谷口	慶彦（木脇小教諭）
		甲斐田	健（本庄中教諭）	楠見	聖哉（八代中教諭）
		宮越	昌輝（木脇中教諭）		